

平成30年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)



平成29年8月4日

上場会社名 ヤマシンフィルタ株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 6240 URL <http://www.yamashin-filter.co.jp/>  
 代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山崎 敦彦  
 問合せ先責任者(役職名) 執行役員管理本部長 (氏名) 井岡 周久 (TEL) 045 (680) 1671  
 四半期報告書提出予定日 平成29年8月14日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第1四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第1四半期	3,072	30.9	512	166.4	490	151.1	355	122.6
29年3月期第1四半期	2,347	△8.3	192	118.3	195	140.4	159	147.1

(注) 包括利益 30年3月期第1四半期 356百万円(—%) 29年3月期第1四半期 17百万円(△80.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第1四半期	28.59	—
29年3月期第1四半期	12.85	—

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため、記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年3月期第1四半期	10,710	6,979	65.2	561.14
29年3月期	10,158	6,652	65.5	534.86

(参考) 自己資本 30年3月期第1四半期 6,979百万円 29年3月期 6,652百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	5.00	—	7.00	12.00
30年3月期	—	—	—	—	—
30年3月期(予想)	—	7.00	—	7.00	14.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	11,090	10.8	980	2.3	970	3.8	660	3.1	53.06

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	30年3月期1Q	12,438,000株	29年3月期	12,438,000株
② 期末自己株式数	30年3月期1Q	一株	29年3月期	一株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	30年3月期1Q	12,438,000株	29年3月期1Q	12,438,000株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- (1) 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予測の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。
- (2) 当社は、平成29年8月8日（火）に証券アナリスト及び機関投資家向けにスモールミーティングを開催する予定です。

○添付資料の目次

添付資料の目次 .....	1
1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 .....	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	4
(4) 追加情報 .....	4
3. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	5
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	7
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	7
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	9
(セグメント情報等) .....	9
(重要な後発事象) .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結会計期間（平成29年4月1日～平成29年6月30日）における当社グループの主要市場である油圧ショベルを中心とした建設機械市場においては、日本では、底堅い内外需を背景に、企業収益や設備投資には持ち直しがみられ、需要は前年を上回りました。北米では、堅調な住宅着工件数の推移を受け、需要の増加が継続し、欧州では、需要は堅調に推移しました。中国では、インフラ投資の拡大に伴う建設機械の大幅な需要の増加が継続しており、東南アジアでは、需要は全体で増加しました。

このような環境の中、当社グループは、中長期的な目標として「建設機械フィルタの専門メーカーから総合フィルタメーカーへの飛躍」を掲げ、時価総額300億円企業、更にはその先を見据え、①事業ポートフォリオの拡大、②収益性の改善、③人材の育成強化、④ガバナンスの更なる充実の4つの課題に重点的に取り組んでおります。

当第1四半期連結会計期間（平成29年4月1日～平成29年6月30日）においては、当社グループの強みである油圧ショベルの作動油回路用フィルタ製品を主軸に、フィルタ製品のラインナップの充実を図り、建設機械メーカーの需要拡大に努めました。また、中国・アジア市場において、補給部品の純正率向上に建設機械メーカーと共同で取り組み、純正部品の採用率向上に努めました。更には、前期より引き続き、利益創出体制の確立を企図した全社的プロジェクトである「Project PAC 17」を立ち上げ、同プロジェクトを着実に遂行することで収益性の改善を実現し、企業価値の向上を図りました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は30億72百万円（前年同四半期比30.9%増）となり、営業利益は5億12百万円（前年同四半期比166.4%増）、経常利益は4億90百万円（前年同四半期比151.1%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は投資有価証券売却益34百万円を計上したことにより、3億55百万円（前年同四半期比122.6%増）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### (流動資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産の残高は、前連結会計年度末比5億47百万円増加（前連結会計年度末比8.2%増）し、72億43百万円となりました。その主な要因は、受取手形及び売掛金が2億78百万円増加（前連結会計年度末比11.2%増）、商品及び製品が66百万円増加（前連結会計年度末比7.6%増）、原材料及び貯蔵品が1億48百万円増加（前連結会計年度末比25.2%増）したことによるものです。

#### (固定資産)

当第1四半期連結会計期間末における固定資産の残高は、同4百万円増加（前連結会計年度末比0.1%増）し、34億67百万円となりました。

#### (流動負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債の残高は、同2億38百万円増加（前連結会計年度末比10.0%増）し、26億12百万円となりました。その主な要因は、支払手形及び買掛金が2億73百万円増加（前連結会計年度末比25.2%増）したことによるものです。

#### (固定負債)

当第1四半期連結会計期間末における固定負債の残高は、同12百万円減少（前連結会計年度末比1.1%減）し、11億18百万円となりました。その主な要因は、繰延税金負債が13百万円減少（前連結会計年度末比35.2%減）したことによるものです。

#### (純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産の残高は、同3億26百万円増加（前連結会計年度末比4.9%増）し、69億79百万円となりました。その主な要因は、利益剰余金が3億25百万円増加（前連結会計年度末比6.2%増）したことによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年3月期連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)につきましては、当第1四半期における需要環境は好転しているものの、世界経済全体や為替動向が先行き不透明であることから、平成29年5月12日に公表した通期の業績予想を据え置きます。

また、同様の理由から、平成30年3月期の想定為替レートにつきましても、同日の公表値である米ドル115円、ユーロ120円を据え置きます。

今後、市場環境の変化が業績等に重大な影響を与えると判断した場合には速やかに開示いたします。

※ 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

### (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

(連結子会社の事業年度等に関する事項の変更)

従来、連結子会社のうち決算日が12月31日であるYAMASHIN FILTER (SIP) TECHNOLOGY INC. 及びYAMASHIN FILTER SHANGHAI INC. については、同日現在の財務諸表を使用し、連結決算日との間に生じた重要な取引については連結上必要な調整を行っておりましたが、より適切な連結財務諸表の開示を行うため、当第1四半期連結会計期間より連結決算日に仮決算を行う方法に変更しております。

この変更により、当第1四半期連結累計期間は平成29年4月1日から平成29年6月30日までの3か月間を連結しております。なお、平成29年1月1日から平成29年3月31日までの損益は、利益剰余金の増減として調整しております。

### (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

### (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

### (4) 追加情報

(厚生年金基金の解散について)

当社は、「東京機器厚生年金基金」に加入しておりますが、同基金は平成27年12月1日開催の代議員会決議に基づき、厚生労働大臣に対し基金解散に係る認可申請を行い、平成28年3月25日をもって基金解散の認可を受けました。同基金の残余財産の確定までは相当の期間を要することから、現時点では解散に伴う費用等の金額を合理的に見積もることができませんが、残余財産の確定額の如何によっては、当社グループの業績に影響を及ぼす可能性があります。

## 3. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,263,301	2,333,076
受取手形及び売掛金	2,480,815	2,759,242
有価証券	200,000	200,000
商品及び製品	868,769	935,154
原材料及び貯蔵品	588,790	737,038
繰延税金資産	187,421	139,557
その他	106,295	139,035
流動資産合計	6,695,394	7,243,104
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	502,543	483,271
機械装置及び運搬具(純額)	334,173	325,749
工具、器具及び備品(純額)	130,665	127,338
土地	155,488	155,488
その他(純額)	149,550	147,557
有形固定資産合計	1,272,421	1,239,405
無形固定資産		
ソフトウェア	43,219	39,005
その他	249,642	374,214
無形固定資産合計	292,862	413,219
投資その他の資産		
投資有価証券	1,745,566	1,667,881
退職給付に係る資産	6,875	6,807
差入保証金	115,842	113,044
その他	29,130	27,047
投資その他の資産合計	1,897,415	1,814,780
固定資産合計	3,462,699	3,467,405
資産合計	10,158,093	10,710,510

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,085,944	1,359,408
1年内償還予定の社債	200,000	200,000
1年内返済予定の長期借入金	300,000	300,000
未払金	252,379	243,971
未払法人税等	216,133	140,813
賞与引当金	112,909	65,327
役員賞与引当金	66,000	15,401
その他	140,654	287,452
流動負債合計	2,374,021	2,612,374
固定負債		
社債	600,000	600,000
長期借入金	150,000	150,000
退職給付に係る負債	173,951	173,381
資産除去債務	160,000	160,000
その他	47,576	35,325
固定負債合計	1,131,527	1,118,706
負債合計	3,505,548	3,731,080
純資産の部		
株主資本		
資本金	822,642	822,642
資本剰余金	562,642	562,642
利益剰余金	5,228,227	5,554,022
株主資本合計	6,613,512	6,939,307
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,881	△18,388
為替換算調整勘定	36,150	58,510
その他の包括利益累計額合計	39,032	40,121
純資産合計	6,652,545	6,979,429
負債純資産合計	10,158,093	10,710,510



(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)
売上高	2,347,274	3,072,654
売上原価	1,322,438	1,667,244
売上総利益	1,024,836	1,405,410
販売費及び一般管理費	832,575	893,141
営業利益	192,260	512,268
営業外収益		
受取利息	1,729	2,262
受取配当金	996	972
為替差益	927	—
スクラップ売却益	694	351
還付社会保険料	2,305	—
その他	1,367	644
営業外収益合計	8,020	4,230
営業外費用		
支払利息	3,076	2,132
為替差損	—	22,502
支払手数料	1,121	500
その他	780	884
営業外費用合計	4,978	26,019
経常利益	195,301	490,479
特別利益		
投資有価証券売却益	—	34,928
特別利益合計	—	34,928
特別損失		
固定資産除売却損	910	14
特別損失合計	910	14
税金等調整前四半期純利益	194,390	525,393
法人税等	34,612	169,783
四半期純利益	159,778	355,609
親会社株主に帰属する四半期純利益	159,778	355,609

## (四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)
四半期純利益	159,778	355,609
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	6,941	△21,270
為替換算調整勘定	△149,236	22,360
その他の包括利益合計	△142,294	1,089
四半期包括利益	17,483	356,699
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	17,483	356,699
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

**【セグメント情報】**

当社グループの報告セグメントは、単一セグメントのため記載を省略しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。